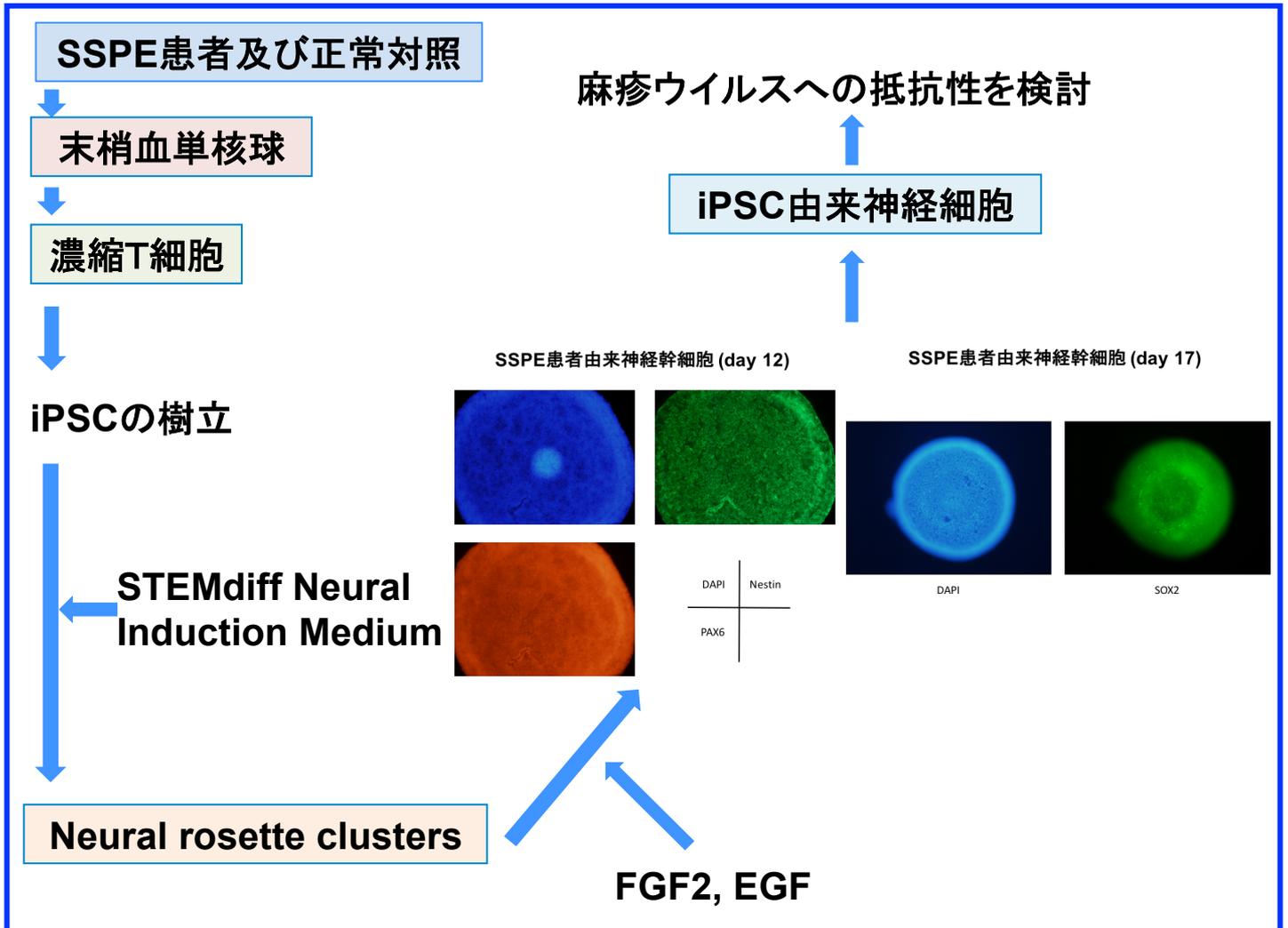


SSPE患者由来人工多能性幹細胞(iPSC)からの神経幹細胞の作製

研究分担者: 産業医科大学小児科 楠原浩一

共同研究者: 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 石崎義人
九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 原 寿郎



解説

1. 単純ヘルペス脳炎に易感染性の患者において、患者由来iPSCから分化させた神経細胞が病態解析に有用であると報告された(Lafaille FG, et al. *Nature* 2012)。SSPEにおいても、末梢血リンパ球を用いた解析よりもiPSC由来神経細胞での解析が望ましいと思われる。
2. SSPE患者由来iPSCを分化させて、神経幹細胞を樹立した。
3. 今後は、さらに神経細胞に分化させ、麻疹ウイルスへの抵抗性を健常対照由来のものと比較する予定である。

本研究は、「SSPEの診療ガイドラインの策定・改訂」に関連した研究である。